

令和 3年 6月 4日
学校法人 都築学園
福岡天神医療リハビリ専門学校
校長 大川 照明

令和2年度 学校関係者評価報告書

《評価対象期間》

自:令和2年4月 1日

至:令和3年3月31日

学校法人 都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校は、福岡県内で新型コロナウイルス感染症患者の発生状況に鑑み、令和3年5月7日から6月4日までの間、学校関係者評価委員会を书面開催いたしました。令和2年度の自己点検・評価で明らかにした学校運営の現況、課題及び改善策について学校関係者評価委員の忌憚のないご意見をいただき、取りまとめた結果を「令和2年度 学校関係者評価報告書」として、ここに公表いたします。

教職員一同、教育の質の向上、法規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校関係者評価委員名簿

田中 耕太郎	御所ヶ谷ホームクリニック院長 福岡市中央区医師会 元会長
藤田 康夫	自治協議会会長
青沼 聡一郎	福岡第一高等学校・第一薬科大学付属高等学校 統括教頭 広報統括部長
深井 伸吾	有限会社いきいきリハビリケア代表取締役
吉村 久弥	第14・17期 作業療法学科学生保護者
鍋 慶一郎	第4期 作業療法学科卒業生

1 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い、本校の建学精神である「個性の伸展による人生練磨」を基調に「個性を伸ばし、自信をつけさせ、社会に送り出す」を教育理念とし、医療福祉関係において社会のニーズに即応できる有為な人材の育成を目的として、専門的なリハビリテーション医療の知識・技能を身につけた地域医療に貢献できる理学療法士、作業療法士、はり師・きゅう師、柔道整復師を養成することを教育目標としている。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
1-1-1 医療福祉関係において時代の変化に応じ、社会のニーズに即応できる有為な人材育成	病院・施設等との密接な連携による時代に応ずる必要な人材像を具現化する。このため、臨床実習指導者会議の開催する。	【意見】同意
1-1-2 学科等に対応するニーズの的確かつ継続的な把握	病院・リハビリ施設等から社会的ニーズや医療業界の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析して行く。 このため、教員には必要な研修等を着実に受講させ、その内容を教育に反映させる。	【意見】同意
1-1-3 職業養成校として国家資格取得のための教育方法について工夫が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の学習成果を踏まえ、個々の学力レベルに応じた教育の実施 ・1年次より国家試験対策を行い、国家資格取得に意識を向けた教育の実施 ・病院等研修成果を少しでも教育(シラバス)に反映させる。 ・研修発表会による医療現場の情報の共有 	<p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような生徒を入学希望としているか？ (ターゲット?) ・学力が低くても入学できるのか？ <p>【回答】</p> <p>本校は、アドミッションポリシーを定め、次のように募集要項に明記しております。</p> <p>1. 入学を希望する学科の就学に必要な基礎学力を有する者</p>

		<p>2. 医療・リハビリテーション分野において貢献したいとの志を有し、主体的に学習をする意欲がある者</p> <p>3. 将来、医療に携わる者として、基本的ルールやマナーの守れる者</p> <p>4. 協調性や基本的なコミュニケーション能力を有する者</p>
<p>1-1-4 社会のニーズに合致した魅力的な専門学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校及び業界団体との連携の更なる強化 ・付加価値のある教育内容の充実を図るため、日本アクティビティ協会「健康ゲーム指導士」及び日本スポーツリハビリテーション学会(JSSR)トレーナーに関する教育の実施 	<p>【意見・質問】 「健康ゲーム指導士」一本ではきついと思います。次は何をされる予定ですか？</p> <p>【回答】 日本アクティビティ協会の「健康ゲーム指導士」に関する教育については、昨年福岡県内で初めて行ったばかりであり、まずは、本校教育の様々な場面に取り込み、教育内容を充実させるとともに、ボランティア活動や夏祭り等の地域の活動の中で実績を作り認知度を高めていくことが大切であると考えております。一方で、将来的には、「骨盤底筋ピラティス国際認定」や「初級障害者スポーツ指導員の資格取得」、本校独自のeスポーツを活用したリハビリテーションや、園芸療法を取り入れたアクティブな授業について検討中です。</p>

2 学校運営

学校設置当初から本校の建学の精神を基調とした教育理念に基づき、毎年度、学校運営方針を定め中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、学生支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人等の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
2-1-1 医療リハビリ専門士に対する社会的ニーズや医療業界の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討	学校関係者評価を活用した継続的な検討	【意見】同意
2-3-2 学校としての法人規程の更なる具体化	法人の規程を踏まえた学校規程の整備・具体化	【質問】同意
2-5-1 業務を実施するうえで、新たに作成する必要がある規程類の検討	作成した規程類の実効性、問題点の把握	【意見】同意
2-6-1 WiFi 環境を全学科が活用している状況ではない。	e ラーニング教育の普及必要領の検討	【意見】 e ラーニング教育の普及、充実は、絶対に必要な条件だと思う。 【回答】 本校も喫緊の課題と考えており、柔道整復学科が長年取り組んでいる e ラーニング教育のデータベースの蓄積やそのノウハウを活かし、それぞれの学科の特性に応じた e ラーニング教育ができるよう、教育要領の確立及びそのための基盤の整備について取り組んで参ります。

3 教育活動

厚生労働省の指定養成校として開校し、学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細かな教育指導のもと実践的な技術能力に力を入れ、国家試験合格率及び就職率100%達成に向け、教職員一同全力をもって取り組んでいる。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
3-1-1 卒業後、実社会で即戦力となれるよう、より実践的な教育課程の編成	卒業生の就職先への訪問等による追跡調査と教育課程の編成への反映	【意見】 同意
3-1-2 令和2年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、更なる努力が必要である。 3年間を通して国家試験受験までの効率の良い時間割の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策(授業、試験要領等)の見直しと判定基準の客観化を検討。 ・学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保 ・オンラインも活用した質の高い教育 	【意見】 同意
3-2-1 令和2年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、国家試験の合格率が、前年度より下回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保及び個別指導 ・遠隔授業環境の改善、同授業要領の工夫 ・国家試験対策(授業、試験要領)の充実 	【意見】 合格率を上げるための具体的方法がアピールできると良いと思います。 【回答】 令和2年度から令和3年4月まで、各学科国家試験の合格率を高めるための方策を再検討、再整理し、令和3年5月にリニューアルしたホームページの各学科の「国家試験合格率を高めている理由」のコーナーで紹介しており、同様の内容を各種媒体でもPRしているところです。

<p>3-2-2 臨床実習病院・施設等以外の学校関係者及び関連分野企業等の意見の反映</p>	<p>・学校評価委員会の活用及び積極的な関連分野企業等からの意見聴取</p>	<p>【意見】同意</p>
<p>3-2-3 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの編成・充実</p>	<p>実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの更なる研究と工夫</p>	<p>【意見】同意</p>
<p>3-2-4 ・実施の要領等制度化、結果に対するフォローアップが不十分 ・授業アンケート結果がじ後の授業にどの程度反映されているか不明 ・教員相互の授業観察を実施</p>	<p>・授業評価の実施・評価体制の検討と制度化 ・令和3年度から教員相互の授業観察を実施 ・個人ごとの授業アンケート結果表の作成・配布(学科長管理)</p>	<p>【意見】同意</p>
<p>3-4-1 登校の制限やオンライン講義によって学生に対する細やかな指導がしづらい状況にあった。</p>	<p>・登校制限下においてもオンライン上で個別指導・相談が行えるようにするための環境整備及び要領の具体化 ・スポーツトレーナー資格受験時期の検討</p>	<p>【意見】 遅かれ早かれオンラインとなってしまおうと思いますので、ここで貴校が先に行けば面白いと思います。</p> <p>【回答】 令和2年度当初からオンライン教育を開始し、今もオンラインと対面型の授業のハイブリッドで教育を行っているところですが、現時点では、オンラインでも個々に応じた細やかな指導は、時間を確保し教員が意識さえすれば、かなりの部分が可能であるという認識に立っております。今後は、更にその具体化要領に</p>

		ついて検討し、認識の統一を図っていきたいと考えております。
3-4-2 令和2年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、更なる努力が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策(授業要領等)の検討 ・学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築及び融通性ある学習時間の確保 ・判定基準の客観化を検討 	【意見】同意
3-5-1 安定的な医療リハビリ系教員資格保有者の確保	資格保有者に関する継続的な情報収集及び募集	【意見】同意
3-5-2 学会等の研修については、業務の都合また予算上で参加できない場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な場合は、オンラインでの参加及び資料の入手 ・教員相互授業観察により、教員の資質向上を図る。 	【意見】同意
3-5-3 教員間の授業内容の把握が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間が過重とまらない範囲で、専任教員で担当できる科目は努めて専任教員で実施する。 ・教員相互授業観察により、授業の質の向上を図る。 	【意見】同意

4 学習成果

各学科毎に明確な目標を設定し、学期ごとの評価判定と学生個々に応じたきめ細かな教育・指導により、段階的な実力向上を図っている。令和2年度の国家試験合格率は、柔道整復学科を除き前年度を下回る結果であった。

中途退学率の軽減策については、担任制により学生の身上把握に努めるとともに、1年次から学力不足の学生に対し時間外補習を計画的に

実施する等、組織的に退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、毎年卒業生就職率100%を達成している。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
4-2-1 令和2年度国家試験は、柔道整復学科を除いて、更なる努力が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学科ごと受験率・合格率目標の設定 ・国家試験対策(授業要領等)の検討と卒業判定基準の客観化を検討 ・学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保 	【意見】 同意
4-3-1 卒業生に関するデータが学校として整理できていない。	医療業界や社会で活躍する卒業生の名簿の整備	【意見】 どういうところで卒業生が働いているかは継続的に把握しておくべきである。 【回答】 卒業時の就職先が変わったり住所や氏名が変わった場合に把握するためのシステムが確立できていません。現状としては、就職先への訪問等の際に情報を把握したり、本校に卒業生が来た場合に把握しておりますが、将来的には、OB会の立ち上げ等により、継続的に把握することを模索しております。

5 学生支援

就職支援については、毎年の「労働条件セミナー」、「就職セミナー」及び「合同就職説明会」の開催により学生の職業意欲の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細かな進路指導により、概ね希望通りに100%の就職ができています。

経済的な支援に関しては、学校独自の学費減額制度はもとより、高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を有効に活用できるよう学生の経済的支援態勢を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
5-2-1 ・成績不良による退学者防止が一部不十分 ・出席簿による日々の出席管理やタイムリーな指導がやや不十分 ・病気、家庭（経済的）の理由による退学者が一定数存在する。	・学生個々の能力に応じた先行的かつ継続的な学習指導 ・令和3年度から科目毎の出席簿に加え、個人毎の出席簿を新たに追加する ・学則指導、特に試験に関する事項について指導を徹底する。 ・経済的理由に対しては、各種奨学金制度や高等教育の修学支援新制度を紹介し、学生を支援する。	【意見】 同意
5-3-1 ・学生と十分なコミュニケーションが取れる相談体制の整備 ・相談箱利用回数年間2回と低調	・今後カウンセラー資格を持った教職員を配置し、より効果的な学生相談体制の整備 ・学生に対する本制度の周知	【質問】 カウンセラーは、常時配置でしょうか？ 【回答】 本校職員を複数カウンセラーに指定しておりますが、教育も担当しているため、常時配置は出来ていません。ただし、カウンセリングを希望する学生が、メール等で相談してきた場合や、担任から依頼があった場合は、極力、相談者の希望に沿って対応しております。
5-4-1 ・高等教育修学支援新制度の機関要件の維持及び制度の普及 ・専門実践教育訓練給付金制度、教育訓練支援給付金制度対象校としての指定取得	・学生の充足率80%、国試受験率80%以上の確保 ・保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な修学支援制度に関する普及教育	【意見】 同意

5-4-2 定期健康診断を実施していない。	2021年度から定期健康診断を実施する。	【意見】同意
5-4-4 組織的な支援体制については、十分整備できていない。	定期的に学生の意見を聴取し、必要な支援体制を確立する。	【意見】同意
5-6-1 能動的な支援体制は整備できていない。	就職支援体制の強化による能動的な卒業生への支援体制の構築	【意見】同意
5-6-2 関連業界との連携等が十分とは言えない。	病院等の関連業界との能動的なアプローチ	【意見】同意

6 教育環境

本校は、福岡市天神の近傍(薬院)に位置しており、交通アクセスが最高で通学に大変便利である。また、病院等の臨床実習施設も福岡市を中心に県内に多く存在し、研修しやすい環境にある。

学校の施設・整備については、医療系リハビリ専門士養成施設として必要な基準を十分に満たしており、防火・環境点検やエレベーター等の保守点検も定期的に受検し法規適正に管理している。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
6-1-1 規則改正に伴う備え付け教材・機械器具の整備	経費面を考慮した施設整備の中・長期整備計画の策定と計画的実行	【意見】同意
6-2-1 病院等の臨床実習施設の安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習指導者会議(バイザー会議)等による病院・施設との連携強化 ・病院研修(兼行)の機会をとらえ臨床実習施設の確保 	【意見】同意

6-3-2 経年変化により、学校施設・設備の老朽化が進んでいる。	中・長期の施設・設備整備計画の作成と計画的な整備の実施	【意見】同意
-------------------------------------	-----------------------------	--------

7 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、医療系リハビリ専門士への夢と希望をもった生徒・社会人を幅広く受け入れている。地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し、募集広報を行なっている。また、ホームページやパンフレット、SNS等の各種広報媒体を活用し、教育内容や国家試験及び就職状況等について学校情報を提供している。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
7-1-1 ・教職員の広報能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・広報会議における情報の共有及び教育 ・教職員の募集広報に係る勉強会及び機会教育の実施 ・学校訪問マニュアルの作成 	【意見】同意
7-1-2 ・18歳人口の減少及び競合校の増により、募集学生の確保に苦慮 ・理学療法学科以外は、入学定員確保未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・競合校との差別化(本校のウリ)検討と積極的な広報 ・マスコミを活用した、本校の取り組みに関する情報発信 ・教職員の募集広報能力の向上 ・オープンキャンパスの魅力化 支援学生による説明の場の拡大 	【意見】同意
7-2-2 入学希望者の平均学力が年々低下している可能性が示唆される。	入学者の学力を把握するための学力試験の実施を検討	【意見】 売りがはっきりしていれば、強気の生徒募集もやって良いと思います。

		【回答】 令和2年度に、他校の状況等と比較し、本校の勝ち目を再整理致しました。現在、各種広報媒体や高校訪問により積極的に募集活動を行っております。
--	--	---

8 財務

学校法人都築学園全体として効率的かつ効果的な経営に取り組んでいるところであり、中・長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。また、私立学校法や学園規程に基づき、毎年公認会計士による監査を受け、結果についてはホームページ上で情報公開している。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
8-1-1 財務基盤の安定は定員に見合う入学者の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	【意見】 同意
8-2-2 予算面から安定的な学生数の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	【意見】 同意

9 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、厚生労働省の医療系リハビリ専門士養成施設であるため、専修学校として文部科学省及び厚生労働省の設置基準を遵守するとともに、九州厚生局(県医療指導課)による立入検査を受検する等、法規適正に学校運営を行なっている。また、自己点検・評価を行ない問題点の改善を図るとともに、その結果をホームページ上で情報公開している。

課 題	改 善 策	ご意見等
9-3-1 学校関係者による評価	令和元年度以降学校関係者評価を実施	【意見】 同意

9-4-1 学校教育指針を情報公開していない。	新たに学校教育指針について情報公開する。	【意見】同意
----------------------------	----------------------	--------

10 社会貢献・地域貢献

地域のボランティア活動として地域の介護施設のイベント支援や福岡県警察主催の犯罪防止キャンペーン及び自転車マナーキャンペーン運動に学生・教職員が参加し地域との連携強化を図って来たが、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実質的な活動は出来ていない。

一方、令和2年度は、8月のスペシャルオープンキャンパスで福岡第一高等学校のバスケットボール監督の特別講演、10月のスペシャルオープンキャンパスで日本アクティビティ協会理事長の健康ゲーム指導士養成講座を開講し、オンライン併用で広く聴講希望者を募り、健康ゲーム指導士養成講座は、民放で放映される等、好評を得ることができた。

課 題	改 善 策	学校関係者評価委員ご意見等
10-2-1 学生のボランティア活動の状況の的確な把握	ボランティア活動に参加している学生の激励や輸送等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介並びに活動様子をホームページ等に掲載することにより継続的な学生への啓蒙を図る。	【意見】同意

11 全般を通じての意見

■貴校の昨年のSNSでの広報の強化は見事でした。貴校のイメージ向上にとっても役立っていると思います。「地の利」の強さがありますので中身<コンテンツ>の充実を図れば、かなり強さが出てくると思います。それでいて、先生方と学生の仲の良さが良く表れていると思いました。最終的には、優しく寄り添ってくれるようなところを選ぶと思います。それに加えてIT系（ゲーム）もからませれば、更に良いと思いました。（青沼）

■教職員の方々が全力をもって取り組んで頂いているのは分かるが、生徒自身がまだ考えが甘いような気がする。教職員の方々も、生徒も、係わる全ての方々に対して感謝の気持ちを持ち、使命感を持って、それぞれの役割をはたしていき、必ず国家試験に合格する、合格させるという念を持って、課題に取り組んで頂きたいと思います。宜しくお願い致します。（吉村）

（注）

- 1 第1項～第10項の課題の欄に記載している「1-1-1」等の番号は、本校が作成した令和2年度自己点検・評価報告書の評価項目番号と合わせており、特に今回課題のなかった項目については、記載しておりません。
- 2 評価委員の敬称は、省略させていただいております。